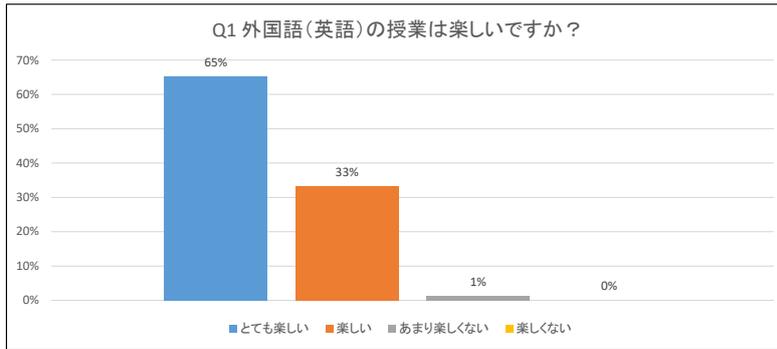
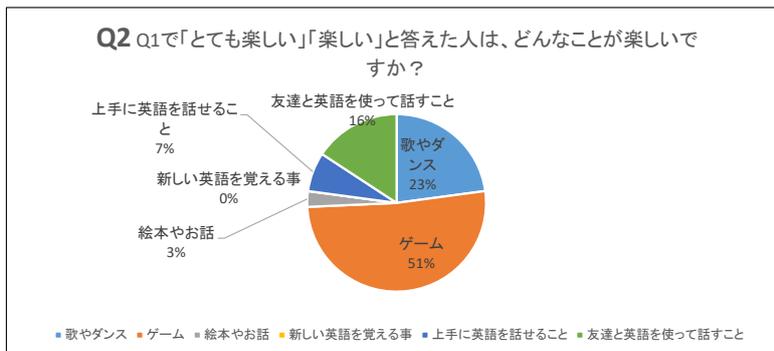


令和5年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(青海小)



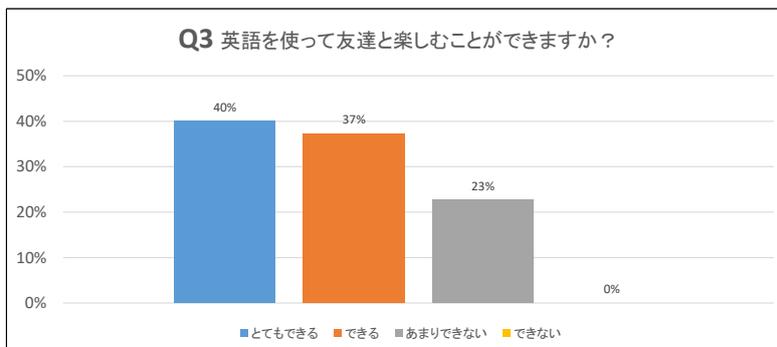
【Q1について】

「とても楽しい+楽しい」を選択した児童が98%もあり、外国語の授業を楽しみにしている様子がうかがえます。昨年度の95%から3%上昇しました。宇城市全体でも「とても楽しい+楽しい」を選択した児童は89%いますが、「とても楽しい」の割合が45%で、本校の65%と20%の開きがあり、本校児童がより授業に親しんでいることが分かります。



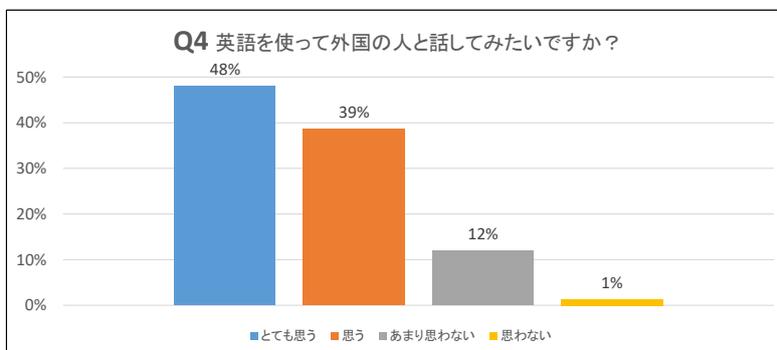
【Q2について】

本校では授業中の「ゲーム」を一昨年度は84%、昨年度は62%の児童が選択していましたが、本年度は10%減の51%です。代わって「歌やダンス」と「友達と英語を使って話すこと」が昨年度比でそれぞれ10%、7%増となっています。児童が年々「授業」として意識するようになってきたとともに、知的な活動を楽しめるようになってきたことがうかがえます。ただし、「新しい英語を覚えること」が昨年度に引き続き0%であることは大きな課題だと思われます。



【Q3について】

「とてもできる」の割合は昨年度と同じですが、「できる」の割合が減少し、その分「あまりできない」が10%増加しました。宇城市全体と比較すると、「とてもできる+できる」の割合はほぼ変わりませんが、「とてもできる」の割合は12%ほど上回っています。いずれにしても友達とのやりとりを楽しめるようにする工夫が必要だと思われます。



【Q4について】

「とても思う+思う」の割合は昨年度より5%上回っています。特に「とても思う」の割合が10%上回るなど、より「話したい」と思う児童が増えているようです。宇城市全体と比べても「とても思う+思う」が9%、「とても思う」児童の割合は15%上回っています。ALTによる指導・支援は週2日ですが、日常的な交流を積み重ねたことで、「話してみたい」という意欲につながったものと思われます。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

令和5年度末の学校評価アンケート(最大値4、最小値1の4段階評価)では、「外国語学習の充実」において、保護者様が平均値3.4、学校運営協議会の皆様が4.0となっています。宇城教育事務所の先生方による学校訪問でも授業を公開し、「児童、担任、ALTのコミュニケーションから楽しく学ぶ姿が伝わってきた。児童のゴールの姿をイメージして、授業を構想することが重要。めあての達成のためにはやり取りの時間をより確保する必要がある」という講評をいただきました。

【考察・今後の展望等】

○4月から赴任したALTとの連携を図り、授業実践を更に充実させていきたいと考えます。特に「新しい英語を覚えることが楽しい」と感じる児童が増えるように、児童がワクワクする授業づくりを進めながら知的好奇心を育てていきます。
○授業のめあてを達成するために、教師やALT、そして児童同士のやりとりの時間を確保します。そこでしっかり慣れ親しむことで、交流する楽しさ、できる楽しさを味わわせ、コミュニケーション能力を育てていきます。